

信州奥志賀 雑魚川ボルダー

北信州の者にとって、夏の避暑といえば、志賀高原が最も有力である。クライマーにとっても暑い時期にはできるだけ涼しいエリアで登りたいものである。実家から小川山や瑞牆山が近くなれば、直ぐ即行だが、ちょっと遠くて気が引けてしまうので、時間はそこそこかかるが、以前奥志賀林道を走った時に見つけた雑魚川ボルダーへでも行ってみようということになった。

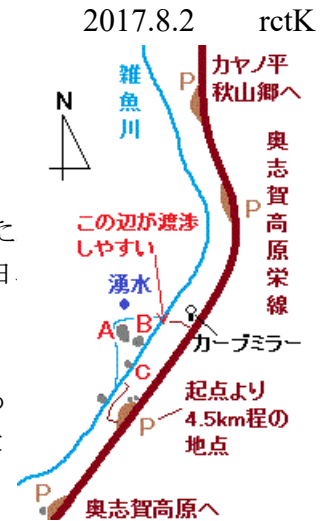
アクセスは車利用で3方向から入れるが、志賀高原経由、カヤノ平経由、秋山郷経由と、何れを利用しても、時間がかかるので、ある意味、観光や避暑を兼ねて、のんびり遊んでくるような気持ちで出かけて行くのがいい。

ボルダーの位置は、奥志賀高原栄線起点から、おおよそ4.5km程であるとわかっているので、実家からだ、カヤノ平経由が一番早いと考え、木島平からカヤノ平へ向かう。林道といっても舗装されているので、思ったより早く、1時間とかからずボルダーのある川原横の駐車スペースに到着する。目的のスペース脇には岩ころが置いてあるので直ぐそれと分かる。

ボルダーは川の兩岸に幾つかあるが、メインは対岸(左岸)にある2つ並んだボルダーで、アプローチは、駐車スペースから川原に降り、浅瀬を狙って渡渉するか、水量が少なければ飛び石伝いに渡るが、渡渉場所は、車道を下流方向に50m程行ったところにカーブミラーがあるので、そこから川に降り渡ると浅瀬で安全でボルダーにも一番近い。

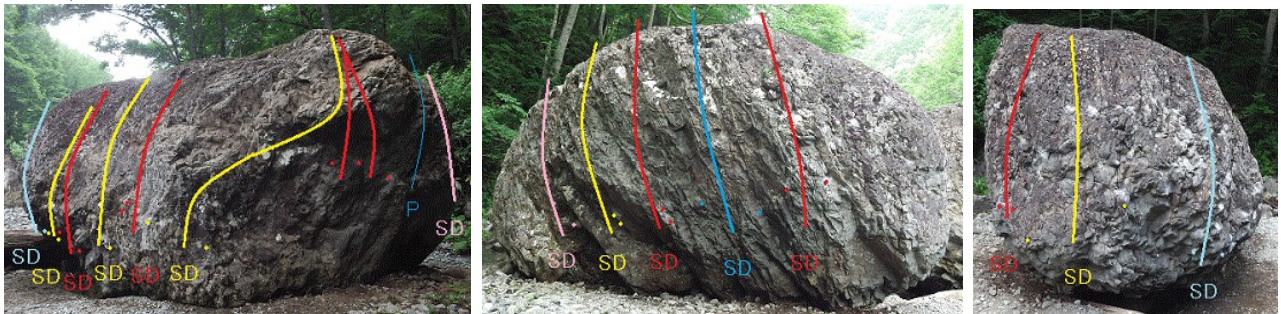
ここは熊の出没への注意を怠らなければ、明るい河原で気持ち良く遊べる。河原のボルダーなので、台風後や春の雪解け水により河床の変化があり、時期によっては、必ずしも課題が全てトライできるかどうか分からない。

紹介したボルダー以外にも、河原から山側に入った藪の中や、下流方面に幾つかボルダーがあるが、ある程度の掃除が必要である。またそのうちに夏の時季にでもトライしてみようと思う。



《課題紹介》

●A 岩

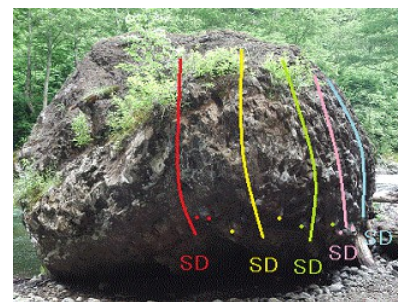


左:下流側 中央:山側 右:上流側

岩の高さは2m強という程度で、岩の周囲に何本か課題があり、SDトライでいろいろと楽しめる。山側の青ラインと下流側の黄色のトラヴァースライン辺りがちょっとムーヴがあり面白い。

●B 岩

2m程の川側のボルダーで、A岩側がハンクしていてSD課題で楽しめるが、特に難しいラインはない。



●C岩

上流側にある3m弱のボルダーで、下流側のフェイスとカンテに課題がある。赤と黄色ラインがそこそこ楽しめる。

